

ぜひ空き家情報バンクに登録を

京都府では、農漁村での地域の担い手を確保するため、移住を積極的に取り組む地域を「移住促進特別区域」に指定しています。

舞鶴市においても、今年3月に指定を受けた四所地区を含む計5地区が指定を受けており、空き家情報バンク制度を通じて、移住者や空き家の所有者を支援しています。該当地区で空き家があれば、ぜひ空き家情報バンクへの登録を検討してください。

▶詳しくは、ふるさと応援課（☎66・1085）へ。

舞鶴市の移住促進特別区域

※市街化区域は対象外



『空き家』と『移住者』をマッチング



移住促進特別区域への移住者と自治会にインタビュー

移住者

以前から田舎暮らしに憧れていて、大阪府から移住してきました。空き家情報バンクに登録されているさまざまな物件から、地域の人との面談などを受けた上で「ここに住みたい」と決めました。家は比較的きれいな状態でしたが、縁側の雨漏りや畳などの修繕が必要でしたので、住宅のリフォーム補助金がとてもありがたかったです。地域の皆さんから「若い人が増えて良かった」と言っただき、地域の一員になれたことを実感しています。近所の人から旬の野菜や魚をいただく機会も多く、移住してから魚をさばけるようになりました。

子どもも都会にいた頃は家の中で遊ぶことが多かったのですが、今では自然の中で元気に遊ぶようになり、舞鶴での生活が充実しています。

《移住2年目》
井上さん一家

自治会

私たちの地域は、以前から空き家が増え、家屋の倒壊や放置された果樹が野生動物を呼び寄せる原因になるなど、近隣住宅への影響が懸念されていました。この状況を変えたいと思い、4年前から空き家情報バンクへの登録を進めています。空き家の所有者に連絡を取ると、多くの人が空き家情報バンクの趣旨に理解を示してくれ、物件の登録を行いました。井上さんをはじめ移住者を迎えたことで、家屋が適切に管理されるようになり、安心しています。移住者を受け入れることは、空き家問題を解決するだけではありません。新しい住民が増えることで地域に活気が戻り、若い世代が増えて、地域全体が明るくなっています。

女布自治会会長
竹原 源樹さん



市長 おつしやるとおりです。移住は、人生を大きく左右することなので、移住に関するいろいろな側面について実情を正しく伝える必要があると思います。

岡山さん それから、移住したいという声を聞き「やったー」と思ったら、意外と空き家がないんです。以前、空き家の所有者に話を聞くと「この先、誰も住む予定がないけれど、人に貸すのは抵抗があるのでこのまま置いておきたい」という話を伺ったことがあります。舞鶴って、田舎暮らしに関する本で、ランキングがどんどん上がってきているので、お互いがメリットのある形でマッチングで

きたらいいですね。

市長 そうなんです。現状がベストではなく、空き家の所有者や移住希望者が気にされている細かい事までくみ取り、空き家バンク制度をアピールしていく必要があります。

岡山さん ぜひ、私で良ければお力添えをさせていただきます。

市長 ありがとうございます。SNSで多くのフォロワーを抱える岡山さんの日々の生活や子育て情報の発信が、舞鶴に非常に大きな影響力をもたらしています。また、コミックエッセイストとして、全国に発信いただいていることもあり

子どもが大きくなった時に「手紙」として渡したいという思いで描いています。

市長 仕事と育児の両立は大変ではないですか。

岡山さん 私は両立しているとはいえないです（笑）。100点満点を目指すのではなく、原稿の締め切りで余裕がない時は家族全員の力を借りて何とか乗り切っています。本のタイトルにもある「たのしいことを拾って生きる。」をスローガンに、日々の小さな幸せを見落とさないようにしたいです。

市長 今後、挑戦したいことはありますか。

岡山さん この家を片付けた経験を生かして、古道具屋を始めようと考えています。空き家に残されている道具をただ捨てるのではなく、再び息を吹き込むことができるようにしたいです。なので、次回作は『まりげ古道具屋を始めました』かもしれません（笑）。

市長 楽しみにしています。

ファンも多く、舞鶴の知名度アップにも大きな影響力を持つておられるので、今後も自然体のままで、舞鶴の魅力を伝えていってほしいと思います。

岡山さん 実は、私は自分のことを「路上ミュージシャン」だと思っていて、自分が感じたことを好きなように描いているだけなんです。それを時々足を止めて読んでくれる人がいると

良いなという感覚です。私の発信が、結果的に舞鶴に興味を持ってもらうきっかけになっていれればいいです。これからも素直に自分の思いを発信しようと思っています。

市長 本日は貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。引き続き、よろしく願います。

岡山さん こちらこそありがとうございました。

